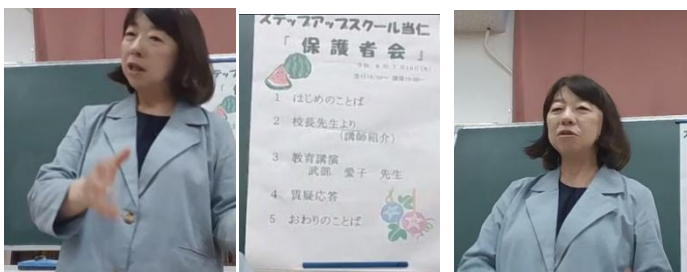


2026.7.16 ステップアップスクール当仁研修会の報告

令和8年7月16日（木）19時分から令和8年年度当仁中学校（ステップアップスクール当仁）の「親の会」教育講演会を図書館において下記の通り実施しました。講師は、福岡こども短期大学 教授で、福岡市内の中学校でも長くスクールカウンセラーとして活躍されている武部愛子先生でした。前半は、スクールカウンセラーの視点からの子育てへのアドバイスや、今の子どもたちのとらえ方、発達障がいはどう向き合うかなど、講話をいただき、後半は先生に具体的な質疑応答で研修を深めることができました。

武部先生は福岡市の教育委員であるとともにその豊富な経験と分かりやすい解説で大変人気のある方です。福岡市のみならず各地での講演は「保護者の会」「人権講演」「民生委員や主任児童員研修」などで、子育てから発達障がいの理解など幅広いお話が聞けたと思っています。変化の激しい時代、従来の子どもに対する見方や接し方だけでは理解できないことが増えてきています。一人で悩まずみんなで考えていければと思っています。当日は氏家校長先生・教職員・学校関係者・教育委員会教育相談課課長・保護者・地域・PTA関係者・SSW・市議員さんなどの参加があり多くの研修を深めることができました。



講演概要

- ・学校職員は子どもに楽しく学校に来てほしいと思っているが、楽しめない子どももいることを知ってほしい。
- ・特別支援コーディネーターから「中学校までは支援できるが、その後どこに繋いだらいいかわからない。」との質問があった。
- ・安心できるまでどこかに所属させておきたい。大学で4年間稼いで、できる限り学生を長くさせてやりたい。その保護下にいる間に安心できる時間を稼ぎたい。（ゆるくかきっちりか）子どもがどこに行ったらよいかは本人によって異なるので、子どもとじっくり話し合ってほしい。子どもはみんなと同じことを求める傾向があるが保護者は柔軟性を持って対応する。子どもは一本道ではないのでゆっくり成長を見守る必要がある。何か言ったことがすべてそうなる訳ではないのでゆっくり成長を見守る必要がある。どこか行けるところは必ずある。それまで親子でフランクな関係を作ってほしい。

質問：とんでもないことや受け入れられないことを言う時親はどうしたらよいか

- ・わが子のことはある程度想像がつくので、子どもが期待していないことを言う。子ども

の話を否定するのではなく、望むことの中で育てることを考える。この子に何がいるのか。優先順位を考えながら話を聞く。おりにふれて「えっ」じゃなくて「あっそうふーん」の演技が必要。

質問：夏休みの過ごし方。集団が苦手。夏休みが苦手。普段と同じ。9月が近づいてくると再開が心配。休み中は楽しいことを楽しむのが大切。親子で共通理解を。①外に出て体験②夏休み明けの準備、生活のリズム。

質問：中2女子。中1 3学期からステップに行った。今は学校に行っていないが安定している。学校との距離の置き方をどうするか

- ・柔軟に対応。「行かないと言ったら行かない」のでどうしようもない。
- ・先生役割は勉強。今学校で何をやっているか、プリントなどを渡す。ポスティングがメイン。返答は求めない。
- ・子どもに迷いが出てきたとき、答えを求めないと意を投げかけておく（迷っていることを受け止める）

質問：中2、運動部に入っている。土日も練習で成績が落ちている。塾も疲れて宿題などができない。本人は「やめない」という。親としてどういったらよいか。

- ・やめるのが一子どもは見え方が違う。番エネルギーがいる。できなくてどんどん背負って行ってしまう。本人は「やめれない」と思い込んでしまう。成績で進路を考えるのではなくそれも含めて進路を考える。大人は先が見えるが子どもは考え方が違う。基本は頑張りたいと思う子どもが多い。

質問：小5。ゲームやYouTubeとの向き合い方。

家にいてもやることはたくさんある。「自分でやめることができるならしてもいいよ」というルール。自分でやめることができなくなったら要注意。年齢相応の情報を提供してくれる間がいい。進んでいくと年齢以上の情報が来る。自分で止めることができる間がいいがそれができなくなると親が止めてあげて、そのあとはないよという約束をする。ネット依存は難しい。

質問：ゲームをどう与えるか。AIにはまっているのは心配。

- ・ゲームをやっている間は健康。休み中は多くするのもありだが「小5、ゲームは何時間なら、脳に影響がある？」とAIに質問させる。親子で見ると本人も納得する。
- ・もう一つはAIに正確に伝えるのはけっこう難しい。パソコンの使い方の勉強にもなる。使う側で会って使われる側にならない使い方を考える。

質問：ステップに来る子どもは天才が多い。カードゲームの天才など。

- ・好きでやれるものをやっているときは不登校を忘れられる。何か夢中になるものは大切。得意なもので生きていくことも仕事にすると苦しくなることもある。

質問：夏休みの過ごし方。

- ・朝起きる。規則正しい生活。生活リズム。これを崩さないことは大事。良質の睡眠を確保するためには昼間は起きておくことは大切。ゴロゴロしない。ブルーライトを有効に

使う。

- ・子どもの言うことをすべて決めつけているわけではない。
- ・口に出している姿は二分の一から三分の一ぐらい。そんなことを考えていたのかとでいえ来たときはチャンス。
- ・子どもの経験値が増えてきたら姿は違うが、基本は変えられない。

2026.7.16 ステップアップスクール当仁研修会のご案内

保護者様

令和8年 6月18日

福岡市立 当仁中学校
校長 氏家 修
ステップ・スクール当仁親の会
代表 三苫 裕美子
ステップ・アップ・スクール
代表 内田 富美子

ステップスクール当仁「親の会」教育講演会のご案内

初夏の候、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。
このたび、下記のように教育講演会を計画いたしました。講師は、福岡こども短期大学教授で、福岡市内の中学校で長くスクールカウンセラーとして活躍されている武部愛子先生です。スクールカウンセラーの視点からの子育てへのアドバイスや、今の子どもたちのとらえ方、発達障がいはどう向き合うかなど、お話していただくと共に、ひざを交えて日頃の悩みを出し合いながら助言をいただき、お互いに学習していこうと考えております。
なお、参加ご希望の方は、**6月30日(火)までに**下記の申込用紙を担任の先生か、教育相談コーディネーター南田（ステップルーム携帯 070-3204-4139）に提出、又はこの用紙をこのまま当仁中学校（Fax 092-761-7832）へFAXして下さい。

記

- | | | |
|------|--|-------------------------|
| 1 日時 | 令和8年7月16日(木) | 18:30～受付
19:00～20:30 |
| 2 場所 | 福岡市立 当仁中学校 図書室
〒810-0066 福岡市中央区福浜2丁目7番1号
Tel 092-761-7831 Fax 092-761-7832 | |
| 3 講師 | 福岡こども短期大学 教授 武部 愛子 先生 | |
| 4 内容 | 子育てに力を尽くすには | |

※ステップアップスクール当仁の参加希望者の方は各「ぼちぼちの会」代表者を通して「ステップアップスクール当仁の内田富美子さん」に連絡を取ってください。